

2015年 自閉症・発達障害児者支援セミナー ～成人期から学ぶ将来を見据えた支援のあり方～

認定 NPO 法人 みやぎ発達障害サポートネット
〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院一丁目 4-1

助成事業の概要

「発達障害のある成人当事者から話を聞きたい」「子供の将来への見通しを持ちたい」といった多くのニーズに応えて、保護者・支援者・一般を対象に全2回のセミナーを実施した。

◆第1回

平成27年8月30日 10時～12時

セミナーサブタイトル：「発達障害のある方のおだやかな成人期に向けて」

講師：金野公一氏／発達障害専門医・サポートはぎ診療所勤務（仙台市）

内容：これまでの長い診療の経験から、成人当事者の方々が陥りやすい、社会で直面する困難さの例と、おだやかな成人期に向けた具体的な支援のあり方について。

◆第2回目

平成27年10月12日 10時～12時

セミナーサブタイトル：「自分に合う生き方をみつけよう」

成人当事者ゲスト：青山貴之氏、神田拓氏

内容：発達障害のある成人当事者2名からの体験談や周囲の人に望むこと等の話と、主催者が事前に取材した成人当事者4名の事例紹介。

セミナー実施終了後、会報誌への報告記事掲載と、事業の実施内容をまとめた報告書を400部作成し、会員・関係機関に配布した。

事業の成果

全2回のセミナー実施により、参加者が対象児

者の望ましい将来像を思い描き、現在の支援について多様な角度から学びを得られたことは、大変大きな成果となった。また、専門医の講演と成人当事者の体験談という構成により、内容の理解がより深まった。セミナー終了後のアンケート集計結果では「とても良かった・良かった」の評価が95%となった。

◆第1回セミナー 参加者数：80名

成人当事者が社会で直面する困難さの例として、「同時に複数の事柄を処理することが難しい・優先順位をつけることが難しい・人間関係の構築が難しい」等が挙げられた。

それらをふまえて、「対象児者の物事のとらえ方に寄り添い、お互いが分かり合うために理解を深めること」や「例えば小さい頃の食事においては少々の偏食でもいいと思うくらい、あらゆる意味でおだやかさを大切にに関わること」等と、他には、「幼児期からの特徴や出来事等をまとめておき、制度の活用時にもすぐに活用できるように準備しておくこと」といったことも挙げられ、おだやかな成人期に向けた具体的な支援のあり方について深く学ぶことができた。

参加者からは、「心に余裕が持てる」「現在の子育てに活かしたい」という声が多く寄せられた。

◆第2回セミナー 参加者数：69名

成人当事者から、経験談やどのようなサポートがあるとよいか等、40分ずつ話してもらい、参加者が現在の支援にすぐに活かせることをたくさん学んだ。「物事の急な変更がある場合は理由を示してほしい・指示は具体的に、口頭だけでなく見て分かるものがあると助かる・自己肯定感を育

むような関わり方を望む」等が挙げられ、参加者の大きな気づきとなった。また、成人当事者からの直接の言葉によって、これまで学んだ内容がより確かなものとなった。他に、「診断を受けたことのメリットとして、自分自身の得意不得意に気づき、今までうまくいかなかった原因と対応策を自分なりに考えることができた」といったことも挙げられた。

さらに、主催者が事前に取材した成人当事者 4 名の事例を紹介し、様々なタイプの事例から、より個別的に対象児者への支援に応用できるよう工夫した。

参加者からは「とても参考になった」といった内容と、成人当事者に対する感謝の言葉が大変多く寄せられた。

成人当事者を迎えてのセミナーは初めての試みであり、打合せ等では当事者への配慮について直接学ぶ機会にもなった。

成果の広報、公表

1 配布用報告書 全 6 ページ

平成 28 年 2 月 25 日発行

配布：会員（保護者、支援者）、相談センター等関係機関、県内市内の特別支援学校、一般施設、子育て支援施設等 400 箇所に配布。

2 会報誌すぽっと 1100 部発行

第 107 号（平成 27 年 9 月 25 日発行）、第 109 号（平成 27 年 11 月 25 日発行）に関連記事掲載。

送付：会員（保護者、支援者）、相談センター等関係機関、県内市内の特別支援学校、一般施設、子育て支援施設、市内保育所、県内児童館等。

3 ブログ虹っ子広場 10 月 25 日に第 2 回セミナーの様子を掲載

一日のアクセス数は 100 ～ 150 件（フェイ

スブックにてさらに拡散あり）。

上記の手段で、県内市内を中心に本事業の成果を公表した。ブログと、連動させているフェイスブックも活用して、さらに広く多くの読み手に事業の内容を届けるよう努めた。記事を読んだ保護者や支援者から、折に触れてセミナーの内容について話題が挙がり、内容を振り返ることができた。

今後の展開

セミナー終了後に、新たなニーズが挙げられ、中でも、「本人の特性に合わせた制度の活用について詳しく知りたい（就労支援の制度や障害者手帳・年金のこと等）」「もっと他にも、発達障害のいろいろなタイプの成人から話を聞きたい」といった声が多かった。制度については、数年前に比べると、発達障害に関する情報が得られやすくなってはきているものの、実際には、個人が必要な情報を得ることが難しい場合も多い。ニーズに合わせた丁寧な情報提供を、今後も行っていきたい。成人当事者からの話については、ニーズに挙げたように、タイプ・性別などを考慮して取り組んでいきたい。

自閉症・発達障害について、今後も多様な角度から学ぶ機会、発信する機会を設け、本人と周囲が歩み寄り、分かり合える社会を目指して、団体の活動をより充実させていきたいと考える。